

第 1735 回 本社・掛川報徳館 5 月常会

2020 年・令和 2 年 5 月 3 日(日)

大日本報徳社社長

鷲山 恭彦

(A) 世界の感染者数 335 万人 死者 24 万人。

中国 8 万人・5 千人 アメリカ 100 万人・6 万 5 千人
イギリス 18 万人・3 万人 フランス 13 万人・2 万 5 千人
ドイツ 16 万人・7 千人 イタリア 20 万人・3 万人
スペイン 22 万人・2 万 5 千人 スウェーデン 2 万人・3 千人 ロシア 11 万人・1 千人
オーストラリア 7 千人・百人 ニュージーランド 1 千 5 百人・20 人
インド 3 万 5 千人・1 千人

(B) 日本の感染者数は 15000 人 死者 500 人。

東京都は感染者数が 4/29.4/430 と 50 人を下回ったが、5/1.5/2 と 160 人を上回る。
非常事態宣言は 5 月一杯まで延長。

(C) 韓国の感染者数 1 万人、死者が 250 人

台湾の感染者数 400 人、死者が 6 人

- ・ 韓国はマーズの感染拡大を許し、200 人が感染、40 人が亡くなった経験。
セウォル号の事件で危機管理の在り方が問われた。
PCR 検査、1 日 2 万人、全体で 42 万人。ドライブスルー、ウォーキングスル検査。
- ・ 台湾は、陳時中厚生大臣を始め、閣僚や台北市長なども医師免許をもっている。
感染症対策が的確。

(D) 日本は初期対応にまずさ。「ダイヤモンド・プリンセス号」問題。

船内抑え込みに失敗し、船全体をコロナウイルスの発生源にしていた。
永寿病院の院内感染拡大。

(E) 東京オリンピックの開催に固執して、対応が後手後手に。

自分の観念に囚われた見方か、現実の全体を明晰に見る見方か。

(F) 「尊徳翁は、天保三年に桜町陣屋管内の畑の租税を免じて、一町歩につき二反歩ずつの割合でヒエを播かせ、凶作の予備とされたところ、翌四年が凶作で、積んでおくまでもなく役立った。また六年も同じようにヒエを播かせたところ、翌七年が大凶作であった。・・・翁の見通しは神のようである」(『二宮翁夜話』)

